

# 「横浜市下水道事業中期経営計画 2018」(素案) に対する 市民意見募集の実施結果について

本市では、これまでの事業運営の進捗や事業を取り巻く環境を踏まえ、今後4か年の新たな計画である「横浜市下水道事業中期経営計画 2018」の策定にあたり、平成30年6月25日から素案に対する市民意見募集を実施しました。市民の皆様から、多くの本市下水道事業に関する貴重なご意見・ご提案を頂き、まことにありがとうございました。

このたび、市民意見募集の実施結果と頂いたご意見に対する本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

## 1 実施概要

ご意見募集期間	平成30年6月25日(月)から7月31日(火)まで
ご意見提出方法	郵送、FAX、インターネット、持参、電子メール
素案の公表場所	素案を区役所広報相談係、市民情報センター、環境創造局下水道事業マネジメント課及び環境創造局ウェブサイト(下記URL)で閲覧 ( <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieikeikaku/tyuuki2018soan.html">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieikeikaku/tyuuki2018soan.html</a> )

## 2 実施結果

提出者数	26名			
提出方法	郵送13、FAX1、インターネット7、持参4、電子メール1			
ご意見数	101件			
分類とご意見数	計画全般	17件	エネルギー・地球温暖化対策	3件
	計画の基本的事項	15件	国際展開	1件
	下水道施設の維持管理・再整備	7件	技術開発	1件
	地震対策	12件	財政運営	6件
	浸水対策	21件	人材育成	3件
	良好な水環境の創出	15件		

## 3 ご意見の分類と計画本編への反映状況

① 反映	：ご意見の趣旨を踏まえ、計画本編に反映したもの	22件(22%)
② 賛同	：計画本編と同趣旨又は賛同・評価を頂いたもの	52件(51%)
③ 参考	：個別事業に対するご意見等で参考とするもの	16件(16%)
④ その他	：本計画との関連が見られないもの、質問等	11件(11%)
	計	101件(100%)

※ 提出されたご意見の概要とご意見に対する考え方については別紙の通りです。

※ 別紙では皆様から頂いたご意見とその分類(上記①～④)、本市の考え方を掲載しています。ご意見は内容により分割して掲載しているほか、「横浜市パブリックコメント実施要綱・運用指針」に基づき、要約等を行っている場合があります。

## 提出されたご意見の概要とご意見に対する考え方

①反映 : ご意見の趣旨を踏まえ、計画本編に反映したもの

## ■計画全般

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	前計画との変更箇所を明確にするため、新規事業、施策は「新規」と書いてほしい。	<p>頂いたご意見を踏まえ、計画期間中の取組のうち、新規の取組が分かるよう記載いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管の清掃と簡易的な TV カメラ調査の同時実施による効率的なモニタリング(計画本編 P. 17)</li> <li>・水位周知下水道(計画本編 P. 25、49)</li> <li>・公園、農業、河川等他分野事業や、農地、樹林地所有者、民間事業者等あらゆる主体と連携し、流域全体で積極的なグリーンインフラの活用を推進(計画本編 P. 25、31)</li> <li>・「市民科学」の取組の支援・PR(計画本編 P. 45)等</li> </ul>
2	字が小さくて読みづらい部分がある。	<p>頂いたご意見を踏まえ、読みにくいと思われる文字の大きさを修正いたしました。(計画本編 P. 7、74～78 等)</p>
3	計画全体を通して用語解説の記載方法に統一感をもたせてほしい。	<p>頂いたご意見を踏まえ、用語解説の記載の仕方を統一いたしました。(計画本編 P. 50 等)</p>
4	市内外において政令市としてのリーダーシップを発揮し、周辺自治体との連携にも注力すると、より充実した計画になるものとする。	<p>本市下水道事業では、地震被災時の汚泥処理について、隣接する藤沢市と「西部水再生センター・大清水浄化センター災害時の相互協力に関する協定」を締結しているほか、東京都及び政令指定都市と「21 大都市災害時相互応援に関する協定」を締結する等、関連する都市との被災時の連携強化を図っています。このような連携の取組を継続し、災害時の対応力の維持向上に努めていく旨、追記しました。(計画本編 P. 20)</p> <p>また、国際展開の分野においても、先進都市としてリーダーシップを発揮していく</p>

		旨、追記しました。(計画本編 P. 40)
--	--	-----------------------

■ 計画の基本的事項

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
5	写真がうまく選んでいる。住所が書いてあるとなお良い。	頂いたご意見を踏まえ、写真には所在や名称を記載いたしました。(計画本編 P. 1 等)
6	BOD (生物化学的酸素要求量) の意味を説明してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、BOD についての説明を追記いたしました。(計画本編 P. 3)
7	字が小さくて、印刷すると読めない箇所がある。	頂いたご意見を踏まえ、図の大きさを修正いたしました。(計画本編 P. 9)
8	図について、日本全体のことなのか、横浜市のことなのか記載してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、図について、集中豪雨の発生場所を記載いたしました。(計画本編 P. 10)
9	図について、右縦軸、左縦軸の上部等に項目を表示したほうが丁寧だと思う。	頂いたご意見を踏まえ、グラフを修正いたしました。(計画本編 P. 7)
10	「1960 年代(昭和 40 年代)」という表示は、西暦表示と和暦表示どちらかに統一すべきだと思う。	頂いたご意見を踏まえ、年代の表記の仕方を修正いたしました。(計画本編 P. 8 等)
11	「(横浜市では汚泥を) 集約処理する仕組みを日本で初めて導入しました」とあるが、名古屋の山崎処理場などは、集約処理は横浜より古いと思う。	下水汚泥を資源として有効活用する観点も含んだ大規模な処理施設であること、また、象徴的な施設である卵形消化タンクが、わが国で初めての設置であること、などから、「日本で初めて」という表現としましたが、より正確な表現に改め、「わが国における先駆的で大規模な汚泥集約処理施設」である旨の表記に修正しました。(計画本編 P. 5)
12	横浜市下水道事業が SDG s の 17 項目のうち、どの項目に関係して取り組むのかを記載したほうが良い。また国際展開において、水ビジネス展開の目的以外に、多くの国や人々が下水道の恩恵が受けられるよう貢献してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、下水道事業においても SDG s の考え方に留意し事業を進めていく旨、追記しました。(計画本編 P. 9)
13	「局地的大雨の発生」について、7 月の西日本豪雨の様な広域的な大雨は、発生確率は低いが、地下鉄への浸水など、被害規模は極めて大きいリスクである。広域的降雨についても記述すべきではないか?	頂いたご意見を踏まえ、広域的降雨について追記いたしました。(計画本編 P. 24)

## ■ 下水道施設の維持管理・再整備

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
14	Zパイプ(昭和40年代に取付管として多く使用された紙に瀝青材(れきせいざい)を浸透させて防水効果を高めたパイプ)：「(昭和40)年代の資材不足の際に使用された・・・」とあるが、横浜市の場合は、資材不足というのは主な理由ではないと思う。	頂いたご意見を踏まえ、1960年代(昭和35年～44年)の市街地開発の際に、多く使用された紙に瀝青材(れきせいざい)を浸透させて防水効果を高めたパイプである旨、表現を修正しました。(計画本編P.17)

## ■ 地震対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
15	「市街地で汚水の溢水が発生し、市民生活に多大な影響が生じ、」とありますが、汚水があふれたら、市街地だけではなく、農地でも問題だと思う。	頂いたご意見を踏まえ、計画本編P.20の表現を、市街地のみに限定せず、「市街地等で」に修正しました。
16	下水道台帳のデジタル化、タブレット端末の活用など、地震発生時に協定を結んでいる事業者との連携しやすいような環境整備をしてほしい。個々の人孔・管路について管理台帳を作成し、維持管理更新とともにデータを更新し、地震発災後も管理された個々のデータについて、状況を整理したら良いと思う。	本市下水道事業でも災害発生時の迅速な現地確認と情報の集約・共有は大きな課題と捉えており、最新の住宅地図帳と下水道台帳を重ねた図面を使用した「下水道災害情報集約システム」を開発し、運用を推進しているところです。本システムの導入を含め、計画本編P.21に記載の通り「下水道BCPに基づく危機管理体制の確保」に精力的に取り組み、災害発生時の状況に応じた調査エリアの絞り込みや調査結果の全体共有の円滑化と、迅速な応急対応を行えるよう、計画を着実に推進してまいります。 また、頂いたご意見を踏まえ、計画本編P.21、③アに「ICTを活用し」の表現を追記しました。

## ■ 浸水対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
17	写真が縦に引き伸ばされている気がする。	頂いたご意見を踏まえ、写真を修正いたしました。(計画本編P.24)
18	浸水対策の地図で、時間降雨約60mmのエリアを「灰色のエリア」としているが、実際の色はベージュ色ではないか。	頂いたご意見を踏まえ、表現を修正いたしました。(計画本編P.27)

■ 良好な水環境の創出

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
19	地図に縮尺を追加してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、地図に縮尺を追記いたしました。(計画本編 P. 34)

■ エネルギー・地球温暖化対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
20	計画本編 P. 38 に記載の P. 48 「下水汚泥以外…」とあるが、P. 50 ではないか。	頂いたご意見を踏まえ、計画本編 P. 38 のご指摘の部分を修正いたしました。

■ 人材育成

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
21	多くの設計を P F I でやるのは構わないが、設計がやれる人材は残した方がいいと思う。	計画本編 P. 70 に記載の通り、研修等を通じて設計など技術・ノウハウの継承及び定着を図るとともに、頂いたご意見を踏まえ、課題解決に向けて、民間事業者等との連携を進めながら先駆的に取り組む旨の追記をいたしました。(計画本編 P. 69)
22	<p>横浜市などの大都市における下水道では、これまで培った経営や維持管理に対する貴重なノウハウが蓄積されている。ある一分野のアウトソーシングは許容したとしても、コンセッションによる全面的な運営委託は、技術の逸散のほか、社会的(利益追求によるサービスの低下)に問題がある。民間に全てを任せることは、貴重な実証フィールドを失うことでもあり、健全な運営の良し悪しを判断することもできなくなり、結果として市民にとってはマイナスとなる。</p> <p>技術を蓄積している横浜市としては、市内部に留まらず、経営及び技術面の弱体化している中小都市への助言・指導などが、「立ち位置」だと考える。</p> <p>このことは日本に留まらず、途上国への指導も国際的に求められている昨今、これに寄与することが国際社会に対しての役割だとも思っている。</p> <p>したがって、今後の下水道の運営にあた</p>	<p>計画本編 P. 70 に記載の通り、研修等を通じて設計など技術・ノウハウの継承及び定着を図るとともに、頂いたご意見を踏まえ、本市は我が国最大の基礎自治体であり、また下水道事業をリードする大都市として、国内外における水環境を巡る課題解決に向けて、新たな技術を活用するなど、民間事業者等との連携を進めながら先駆的に取り組む旨の追記をいたしました。(計画本編 P. 69)</p>

	<p>っては、包括的な外部委託に対してははっきりとした線引きを行い、技術の離散を避け、更なる人材の育成に努めて欲しい。</p>	
--	---	--

②賛同 : 計画本編と同趣旨又は賛同・評価を頂いたもの

■計画全般

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
23	<p>全ての項目をはやくやってほしい。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
24	<p>わかりやすい記載方法で理解できた。4部構成で各部の内容がはっきりし、優れた計画であると感じた。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
25	<p>前計画はフルカラーでなかったが、本計画はフルカラーになり読みやすくなった。 ページ数が増えた、またイラストや写真が増えた。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
26	<p>全般的に図、イラスト、写真が多く、大きくて読みやすかった。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
27	<p>図や写真入りでとても解りやすい内容だった。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
28	<p>主要施策はいずれも具体的な目標が設定されており、横浜市下水道事業の重点施策と言え、下水道の枠を超えた横断的な取組にも期待したい。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
29	<p>色々な計画に取り組んでいる事がわかった。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
30	<p>横浜駅周辺下水対策の計画を見た。民間がエキサイトよこはま 22 事業の中で、出資する。水害対策+経済振興+道路対策それに加えて民間、その他、総合的な都市づくりが大切だと思う。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
31	<p>前計画は「方針」という用語だったが、「目標」という用語になり、改善した。</p>	<p>前計画の「中期経営計画 2014」でも、目標を掲げ、事業を推進してまいりました。「中期経営計画 2018」においても、引き続き、目標を掲げ、計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
32	<p>4か年の主な取組として 129 項目挙げられているが項目の多さが少し気になった。 下水道事業を取り巻く環境は、厳しいも</p>	<p>将来にわたり、安定的に下水道サービスを提供していくために、計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進し</p>

	のがあり、対策は急務かと思うが、財政状況も踏まえ無理のない事業経営を望む。	てまいります。
--	---------------------------------------	---------

## ■計画の基本的事項

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
33	「基本的事項」は大きな問題はなく評価する。根拠やデータによる政策形成も評価する。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
34	写真が多くて良い。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
35	適応方針を「国や他都市に先駆けて・・・」とあり、横浜市らしい。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
36	下水道は持続可能な社会やまちづくり、環境維持に欠かせない重要なインフラであり、次世代のために最適な状態で引き渡すことが現在に生きる我々の使命であることも記載した方が読者の心に響くと思う。	<p>計画本編 P.1 に記載の通り、経営理念として本市下水道事業の持続可能な事業運営に向けた永年の使命を掲げ、かけがえない環境を未来へ引き継ぐことを目指しています。また、計画本編 P.16 に記載の通り、下水道施設は快適で安全・安心な市民生活に不可欠な重要インフラであり、将来も安定的に下水道サービスを提供していくことが我々の責務であると認識しています。</p> <p>計画期間中は予防保全型の維持管理を強化し、機能向上と併せた計画的な施設の再整備を進めるとともに、健全な財政運営を維持し、ご期待に応えられるよう、持続可能な事業運営を目指してまいります。</p>
37	図 1-1 は、わかりやすくできていると思う。市の長期計画に言及してはどうか。	ご指摘の箇所は、本計画の構成を図として表したものです。計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

## ■下水道施設の維持管理・再整備

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
38	下水道管の再整備のところで、前計画の、「流下能力の不足している箇所」との表現が、「浸水被害が発生している箇所」となって、わかりやすくなったと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
39	老朽化した下水道幹線の破損等により、道路陥没があってはならない。重点的な再	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

	整備をしっかり推進していただきたいと思う。	
40	維持管理・再整備の必要性に対する市民の理解を得られるよう努め、滞りなく維持管理・再整備を進めてもらいたいと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
41	下水道管の劣化にともなう破裂などの事前対策等の強化が早急に必要かと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
42	人口減少社会の到来をうけて、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)技術を活用した下水道事業の低ランニングコスト化を実現するべきだと思う。	効率的な調査を行うための新たな技術として、ノズルカメラの活用を検討しています。AIやIoTなど新技術は、初期投資も含めた現実性も考慮に入れ検討していく必要がありますが、調査やモニタリングの効率化につながる技術は、技術進歩の状況も踏まえつつ積極的に導入していく考えです。 頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。

## ■地震対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
43	下水道の目的である「公衆衛生への寄与」、「人命や財産を守る」観点からハマッコトイレの整備の前倒しや拡大、水位周知下水道の面的拡大に向けた施策をお願いします。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
44	近年ハマッコトイレの整備が進み、私の家の避難場所にも整備されて安心している。これからも横浜市下水道事業を応援している！頑張ってもらいたい。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
45	防災等の対策について、色々取り組み、市民の生活を守っていただけることに感謝する。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
46	最新技術等の開発、導入に期待している。 ハマッコトイレの設置について、計画の進捗などがわかる様な体制及び発信をお願いしますと思う。前々から情報を得ている事は、とても心強いものだと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
47	特に「ハマッコトイレの整備」を強化してほしいと思った。これらの情報を私たち	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

	市民に分かりやすく発信してもらいたいと思う。	
48	地震災害・大水害は自然災害で防御できない部分、財政的な問題、技術的な問題も大きいと思うので、危機管理体制の強化、下水道施設の再整備及び耐震化、浸水危険区域の浸水対策と共に、広域避難場所の整備、地域防災拠点の整備等実現可能な施策から進めてほしい。	頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
49	地震や集中豪雨の多発化を受けて、下水道施設の耐震化、雨水調整池、設備装置など柔軟な運用システムを構築する減災への取組について、優先順位を上げて実施してほしい。	下水道施設の耐震化、雨水幹線や雨水貯留施設などの整備に加え、内水ハザードマップやレインアイよこはまなど大雨に対する備えに役立てるための情報提供を行い、防災・減災両面の対策により進めることが重要と考えています。浸水対策、地震対策に取り組む中で、減災対策についても、計画を着実に推進してまいります。
50	下水道施設の耐震化の推進について、個々の下水道施設の耐震化は重要だが、水再生センター間を幹線で接続して、下水道システム全体として耐震化を進める「神戸市のネットワークシステム」のように取り組んでいけないのか？	本市においても、北部第一水再生センター・神奈川水再生センターの下水を北部第二水再生センターに送水し、処理を行うことを計画しています。このネットワーク化により、高度処理化に加えて、老朽化した施設の更新・再構築が可能となるとともに、地震等の被災時において、処理機能の相互補完（リスク分散）が可能となります。水再生センターの耐震化は、各センター単位で最低限の処理（沈殿・消毒）を行えるように計画しています。 頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。

## ■浸水対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
51	浸水対策について、新しい技術等を導入し、市民が安全に暮らせるよう、防災・減災に引き続きよろしくお願ひしたい。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
52	浸水対策の取組について選択と集中が明確だと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
53	浸水対策に関する図は良く書けていると思う。「エキサイトよこはま 22」の図は	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

	前計画に比べて良くなったと思う。	
54	浸水対策の図について、前計画では、50mm エリアと、60mm エリアと 2 ページに分けられていたが、本計画の 1 ページの方が分かりやすいと思う。地区名を追加したことも良いと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
55	イラストが分かりやすい。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
56	「水位周知下水道」について、スマートフォンを利用すれば、行政側のコストがかからず、コストが低いと思う。	頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
57	集中豪雨に伴う浸水対策の強化に関しては期待している。今後は都市部においても予想を超える豪雨による被害を懸念しており、早急な対策が必要ではないかと考えている。ぜひ、速やかな対策の実施をお願いしたい。	計画に対するご期待と捉え、計画を着実に推進してまいります。
58	降雨時負荷低減に関して、本計画に直接関係している事項ではないが、市管轄の道路(歩道部分)舗装について、浸透性を有したものにす取組をさらに推進していくことを検討してもらいたい。	頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
59	ICT 利用は費用対効果が高いと思われる。水害地点において活用してほしい。	ICT を活用した水位周知下水道の取組の検討を進めており、既存の下水道管等に水位計を設置し、地下街管理者等への情報提供をしていきます。また、既存雨水貯留施設の有効活用を目的に、水位計を設置して計測していきます。 計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
60	水位周知下水道について、このような ICT 利用は、各水害地域での下水の水位の計測データを知らせるシステムなど、多様な応用が可能と考える。	頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
61	局地的な集中豪雨対策として、異なる雨水排水系統間をバイパス管で繋ぎループ化し、限られた管きょ空間を相互に補完し合うことについても是非検討してもらいたい。	頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。
62	河川にあっては総合的な治水事業を促	計画本編 P.25 に記載の通り、本市下水

<p>進し、5年確率から10年、150年とグレードアップが望まれる。また、内水対策としては、時間降雨強度を50mm/hから60mm、80mm、100mmに上げて欲しい。</p> <p>地下街や資産の集積する市街地での水害軽減策としては、面的な「貯留管」敷設とともに、実害のない5～10cm程度の人為的な「湛水域」の建設が望まれる。湛水域はビルの屋上（屋上緑化）を利用するとともにグリーンインフラを活用し、まずは、モデル地区を設定して事業を進め、「見える化」によって市民の理解を得てはどうか。</p>	<p>道事業では目標整備水準に対して浸水被害を受けた地区を重点的に整備することとしています。さらに、近年の局地的な集中豪雨の頻発による被害の激甚化に対応するために、公園、樹林地、農地など自然環境が持つ多様な機能に着目したグリーンインフラの活用により、浸水対策の強化と地下水のかん養など良好な水循環を再生します。</p> <p>頂いたご意見も参考に、計画を着実に推進してまいります。</p>
---	--

### ■ 良好な水環境の創出

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
63	<p>たちばなの丘は施策、目的が複合化していて、とてもいいと思う。</p>	<p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
64	<p>土をきれいにするにはみみずをまく。水をきれいにするにはしじみ、はまぐり、あさり等の貝類を入れる手段があると思う。</p>	<p>計画本編 P.31 に記載の通り、本市下水道事業では雨水浸透ますの設置や雨水貯留タンクの設置への助成、さらにグリーンインフラの活用を推進し、計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p> <p>なお、豊かな海づくりの取組の中では、中区山下公園前の海域において、海の生き物のすみやすい環境づくりや生き物の持つ水をきれいにする力を活用した水質の向上を目指し、民間事業者と共同研究を実施してきました。</p>
65	<p>高度処理を増やすのは大賛成なので、東京湾の水質改善をもう少し説明してほしい。</p>	<p>東京湾では依然として赤潮、青潮の発生が見られ、引き続き富栄養化対策などの観点から更なる処理水質の向上対策に取り組んでいく必要があります。東京湾の水質向上のためには、東京湾全体の流域の自治体が一体となって下水道整備や規制指導を進めることが必要であり、本市も流域自治体で取り組むべき計画に基づいて事業を進めています。良好な水環境の創出は、下水道の果たすべき重要な役割となりま</p>

		すので、今後も市民の皆様には本市下水道事業を理解していただけるよう、分かりやすい説明に努め、計画を着実に推進してまいります。
66	せせらぎはできれば都心部に設けてほしい。	頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます、計画を着実に推進してまいります。
67	「水循環の再生」について、きれいな湧水の流れる水路は、相当に意識して残さないと、利便性やコストの観点から失われる可能性が大きい。水路の活用を推進してほしい。	ご意見の通り、本来、自然が有していた保水・浸透機能が失われてきており、生物多様性の保全や健全な水循環創出の観点からの取組が必要です。そのため、地下水のかん養、河川流量の回復等に向け、グリーンインフラを活用し、保水・浸透機能を高め、雨水をゆっくり流す取組を推進していきます。また、頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます、計画を着実に推進してまいります。

#### ■I初ギ - 地球温暖化対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
68	下水処理の水を再生水として利用しているのは素晴らしいと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

#### ■国際展開

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
69	国内外へのプロモーション活動において、これまでの横浜市が下水道事業で培った様々な技術を生かし、新興国等における水環境問題の解決に大いに貢献してもらいたいと考える。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

#### ■技術開発

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
70	増量した消化ガスによる水素創出について、水素創出に向けた先進的な取組だと思ふ。創出された水素の利用方法や水素創出の方法について教えてほしい。	創出した水素は、燃料電池自動車（FCV）への利用を検討しています。水素創出の方法としては、消化ガスの主成分であるメタンを化学反応させる方法や消化ガスを燃料として発電した電気を活用し、水を電気分解して取り出す方法がありますので、本市に最適な方法を検討してまいります。計

		画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。
--	--	-----------------------------------

## ■ 財政運営

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
71	企業債未償還残高を削減すべき。	<p>今後必要となる事業費を見通すとともに、将来世代に過度な負担とならないよう、企業債発行額は企業債償還額の範囲内に抑え、計画期間中に企業債未償還残高を約 694 億円削減し、財政の健全性を維持してまいります。</p> <p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
72	優先的課題は、「污水インフラ整備は料金で」と市民や事業者に理解を求める事と考える。	<p>現在、污水施設は企業債や国庫補助金を活用して整備を行っており、下水道使用料は主に施設の維持管理等に充てております。このような下水道財政の仕組み等について、計画本編 P. 46 に記載の通り、市民や事業者の皆様が本市下水道事業に対するご理解を深めていただけるよう、様々な機会、媒体を使って情報を発信し、事業の透明性向上を図ることとしています。</p> <p>計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。</p>
73	市民へ方向性として使用料の値上げは、仕方ないことを説明すべきだ。また、使用料の値上げについては、累進性を強化するなど経済的弱者に配慮した仕組みが必要である。	<p>現在、污水施設は企業債や国庫補助金を活用して整備を行っており、下水道使用料は主に施設の維持管理等に充てております。このような下水道財政の仕組み等について、計画本編 P. 46 に記載の通り、市民や事業者の皆様が本市下水道事業に対するご理解を深めていただけるよう、様々な機会、媒体を使って情報を発信し、事業の透明性向上を図ることとしています。頂いたご意見を参考に、持続可能な事業運営に向けて、計画を着実に推進してまいります。</p>

## ■人材育成

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
74	横浜市の下水道分野にはこれまでの事業・運営で培った技術・ノウハウが豊富にあると思う。そういったものを組織的に確実に継承・定着させもらいたいと思う。	計画に対するご期待に応えられるよう、計画を着実に推進してまいります。

③参考：個別事業に対するご意見等で参考とするもの

## ■計画全般

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
75	計画書にもページ数制限があると思うので、計画に記載できない詳細情報をネット上に掲載するのであればコストは安いのではないかと思う。	<p>頂いたご意見を参考に、市民や事業者の皆様が本市下水道事業に対するご理解を深めていただけるよう、様々な機会、媒体を使って情報を発信し、事業の透明性向上に努めて参ります。</p> <p>○本市下水道事業の施策など全般のこと  <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/</a></p> <p>○本市下水道事業の予算・決算  <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/yosan/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/yosan/</a></p>
76	目次がもう少し細かくてもいいと思う。	簡潔かつ計画の全体が分かるような目次構成としております。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。

## ■下水道施設の維持管理・再整備

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
77	管路の再整備について、布設替え、既設管利用等の総合的な判断がされるよう、横浜市として基準の統一化を望む。	「面整備管の再整備」を実施するにあたり、ご意見を参考にさせていただきます。

## ■地震対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
78	「ハマッコトイレ」の設置・説明会等、「水再生センター」の耐震化・津波対策は市民としては安全・安心材料の一つと考えられる。しかし、「ハマッコトイレ」の整備状況に対して「下水道管路」の整備状況を見るとアンバランスではないかと思う。	<p>下水道管の耐震化については、耐震診断の結果や現場条件により、整備に時間を要することから、ハマッコトイレの整備を先行して進めています。</p> <p>ハマッコトイレの整備が完了した拠点を優先的に下水道管の耐震化を着実に進め、被災時のトイレ機能の確保を図りま</p>

		す。
--	--	----

## ■浸水対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
79	浸水対策の図について、前計画の図には無かった地域を、記号とか色とかを変えてはどうか。	近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化してきており、浸水被害があった地域に対して順次対策を講じており、計画本編 P. 27 は本計画期間における予定箇所を示しています。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
80	ICT 活用（水位周知下水道）について、浸水リスクを評価したのはいいが、難しいかもしれないが、公開してはどうか。	頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
81	グリーンインフラの活用について、公共、公益施設は、雨水タンク又は雨水ますの設置を義務化してはどうか？大規模な施設はさらに雨水浸透下水管の義務化が必要だと思う。	頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
82	家が低地に建っている場合、雨水があふれて自宅の浸水の恐れがあるので、ハザードマップ以外の家屋の調査も必要だと感じている。	<p>内水ハザードマップは、想定以上の大雨が降った際の地域の被害に対する危険性をお知らせし、市民の皆様が避難等の対策を講じていただけるように、浸水の危険性がある区域及び想定浸水深さを示した浸水予想区域図と市民の皆様の日頃からの備えや対策等を記載しています。道路面を基準にした浸水深さ(想定)となっていますので、道路面より低い位置にある住宅や、半地下などの住宅は、表示されている浸水深さより大きくなる可能性があります。</p> <p>市民の皆様の日頃からの備えや対策等に役立てていただけるように、内水ハザードマップの普及啓発に今後も努めてまいります。</p>
83	整備水準を時間降雨量約 50mmあるいは 60mm（横浜駅周辺では 74mm）で計画されているが、特に局地的に集中豪雨による浸水危険度の高い地区については、100mm程度にすべきではないかと思われるが、そこまでとは行かないまでも、前計	計画本編 P. 25 に記載の通り、本市下水道事業では目標整備水準に対して浸水被害を受けた地区を重点的に整備することとしています。さらに、近年の局地的な集中豪雨の頻発による被害の激甚化に対応するために、公園、樹林地、農地など自然

	画よりもさらに高い整備水準にすべきではないかと思う。	環境が持つ多様な機能に着目したグリーンインフラの活用により、浸水対策の強化と地下水のかん養など良好な水循環を再生します。 頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
84	グリーンインフラの活用について、取組自体は良いと思うが、具体的な場所や時期の記載がないためイメージがわからない。	公園、農業、河川等他分野事業や、農地、樹林地所有者、民間事業者等あらゆる主体と連携しながら、具体的な場所や時期を検討し、推進してまいります。

### ■ 良好な水環境の創出

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
85	合流式下水道の改善について、臨海部の雨水滞水池を残してほしい。	雨水滞水池の整備は、本市下水道事業でも精力的に進めてきた事業の一つです。 頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
86	湧水を活用したせせらぎを整備するならば、泉区ではないか。	頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
87	「下水を高度処理した再生水を活用した「せせらぎ」と緑道の整備を、入江川、江川、今井川、中堀川等において・・・」とあるが、今井川と中堀川には処理水を送っていないと思う。	ご意見の通り、今井川や中堀川へは処理水は送水していませんが、計画本編 P.34に記載の通り、雨水や湧水を導水しています。
88	水再生センターにおいて、不要になった竹林を竹炭にして新たな処理水を作る事ができると思う。	頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。

### ■ I初ギ - 地球温暖化対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
89	資源・資産の活用で、「一部の消化ガス発電電力については、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用して売電しています。」と記載されているが、固定価格買取制度は収入を確保できる手段だと思うが、横浜市にとっては CO <sub>2</sub> 排出削減につながらない。 固定価格買取制度は利用せず、環境未来都市の横浜市としては水再生センター内で利用する、もしくは横浜市及び市民、市	固定価格買取制度を利用した売電収入は、下水道施設の維持管理に充てており、貴重な財源となっています。 なお、消化ガス発電について、固定価格買取制度契約期間終了後は、本市下水道事業の CO <sub>2</sub> 削減に寄与することとなります。 ○消化ガス発電の固定価格買取制度契約期間 北部汚泥資源化センター：2030(平成 42)年 3 月まで

内企業へ環境価値を還元すべきと考えるが、横浜市の考えを教えてください。	南部汚泥資源化センター：2038(平成 50)年 4 月まで
-------------------------------------	--------------------------------

### ■ 財政運営

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
90	雨水を私費で対応してはどうか。	下水道事業では、雨水の排除による便益は広く市民一般に及ぶことから、下水道事業における費用負担の原則である「雨水公費・汚水私費(うすいこうひ・おすいしひ)」に基づき、雨水事業に要する経費は市税である一般会計からの繰入金を財源としています。

④その他：本計画との関連が見られないもの、質問等

### ■ 計画全般

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
91	解りやすいことは評価する。中期経営計画で記述しなくてもいいので、区別データ又は処理区別データが閲覧可能な場所を示してほしい。	本計画に記載しきれない詳細なデータは環境創造局ウェブサイトに公表しているものもあります。 ○本市下水道事業の予算・決算 <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/yosan/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/yosan/</a>

### ■ 計画の基本的事項

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
92	他市の先行事例を導入して、安く設備を購入できたとかの事例はないか。	政令市を中心に先進事例等の情報共有を随時実施しています。計画本編 P.58 に示す主な取組など、先進事例等も参考にしながら支出削減の推進に努めています。

### ■ 地震対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
93	新潟や仙台や大阪での被害数から、震度6弱の横浜での被害数を予測できないか。	「横浜市業務継続計画(BCP)」の中では元禄型地震を想定し、震度5～7といった条件で下水道の被害想定をおこなっております。なお、「横浜市下水道BCP」の中でも元禄型地震を想定しており、震災時に被災した機能を早期復旧させるために、計画を着実に推進してまいります。

		<p>○「横浜市業務継続計画（BCP）」  <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/plan.html">http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/plan.html</a></p> <p>○「横浜市下水道BCP」  <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/bcp/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/bcp/</a></p>
--	--	--

## ■浸水対策

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
94	前計画の中間振り返りにおいて「事業の進捗はおおむね順調であったが、管きよの更新は施工条件の難しさ等から進捗が遅れが出るなど課題が抽出された」とあるが、これを踏まえた上で本計画の「計画的な浸水対策の着実な推進」は可能なのか。	ご指摘の通り、面整備管の再整備区域内では、用地問題や施工条件の難しさ等がありますが、効果的な整備手法を検討し、より円滑な事業の推進を図ることで、計画を着実に推進できるよう努めてまいります。

## ■良好な水環境の創出

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
95	雨水吐の改良について、「雨天時に下水が直接放流される回数を減らします。」とあるが、その推測値を書いてほしい。	ご指摘を頂いた通り、現実に放流回数を減らすための取組を、合流式下水道緊急改善計画に基づいて進めてきており、2023(平成35)年度に放流回数を半減する目標を設定しています。
96	高度処理の導入について、流総計画による東京湾への汚濁負荷量の削減目標数値に対し、どの程度削減したのかを知りたいが、処理系列数の整備率がイコール削減率と考えて良いか？	処理系列数の整備率は、削減率とは異なります。削減率の代わりとなる指標として、各年間の平均値が東京湾流域別下水道整備総合計画の計画処理水質(年間平均値)を下回っていることを確認する形で指標を設定しており、指標の考え方は計画本編 P.76に記載しています。
97	計画に対し、進んだ、又は進まない原因、理由を分析し、公表することが重要。	「横浜市下水道事業経営研究会(第7期)報告書」の「第2章 横浜市下水道事業中期経営計画2014 中間振り返り」において、整備指標に対する達成状況を以下の通り公表しております。 <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieiken/h27-29/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieiken/h27-29/</a> 今後、「横浜市下水道事業中期経営計画2014」の最終振り返りについても公表予定です。(平成30年11月予定)

98	水処理の高度化による海水域の水質改善について、除去したリンの再利用はしているか。	リンの再利用技術の導入には技術面やコスト面等での課題があり、本市下水道事業では除去したリンの再利用は行っていません。
99	「雨天時に合流式下水道から放流される汚濁負荷」の文章は「雨水吐の改良」の説明ではないか。	計画本編 P. 30 の説明は、本市下水道事業で取り組んでいる合流式下水道の改善事業全体の説明となっており、雨水吐の改良に加え、雨水滞水池の整備やポンプ井(せい)の改良など、さまざまな対策により汚濁負荷削減を進めているところです。

## ■ 財政運営

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
100	財政について、前計画と本計画では経営指標の選び方が異なるようだが何故か。 (経営状況が悪化したとか、なのか)	今回策定する「中期経営計画 2018」においては、分かりやすさを追求し、使用料収入や企業債未償還残高等の収入、支出、ストックの状況について、棒グラフを用いて経営の現状を説明しております。また、計画本編 P. 78 に掲載しております通り、本計画においても、経常収支比率や汚水処理原価、企業債支払利息負担率などの経営指標を使い、収入、支出等を分析し、経営状況を把握・評価してまいります。さらに、毎年度経営分析を実施し、分析結果を以下の通り公表しております。 <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieihikakubunsekihyou/">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/keiei/keieihikakubunsekihyou/</a>
101	色々なものが値上げされており、できるだけ下水道料金は上げずをお願いしたい。	下水道使用料については、計画期間中は現行の下水道使用料単価・体系を維持しつつ、健全な財政運営を進め、持続可能な事業運営を目指してまいります。